

# 令和元年度 西毛地区小学校体育科授業研究会レポート

期日：令和元年11月8日（金）

会場：藤岡市立美土里小学校

単元：陸上運動「走り高跳び」

指導：多田 光介 教諭

（藤岡市立美土里小学校）

篠崎 隼人 教諭

（藤岡市立西中学校）

今年度の西毛地区授業研究会では、藤岡市立美土里小学校の多田光介先生、藤岡市立西中学校の篠崎隼人先生が授業を提供してくださいました。小中連携の取り組みとして、9年間を見通した体育の授業には、様々な工夫がありました。

## 場の設定



計6つの場を設定したサーキットトレーニングでした。バスケットゴールにつけられた3種類のスズラテープをタッチする「ふみきり」の練習や、ゴムひもをまたぐ「ふりあげ足」と「抜き足」の練習など、どの場も目的意識・身につく技術がはっきりしていて、工夫されていました。

自分の課題を意識して練習したり、サーキットで身についたことを生かしたりする場がしっかりと確保されていました。

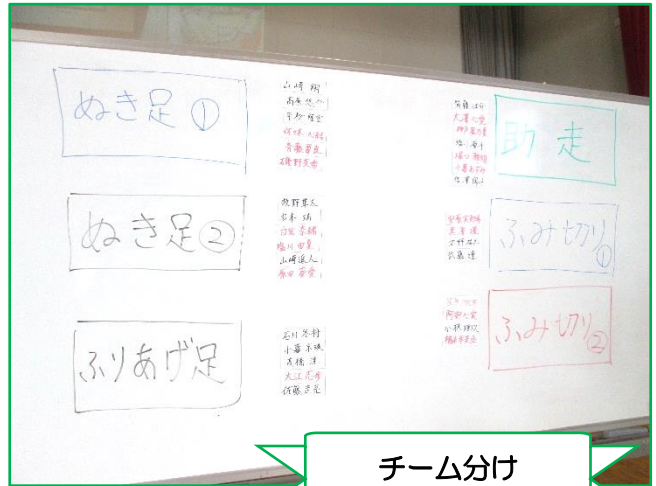
## ワークシート

「走り高跳び 上達への道」1単位時間の流れや、1単元の流れが明記されていました。目標記録やその日の最高記録を記入する欄もあり、自身の成長を実感できる作りとなっていました。※中学校でも同じ作りの学習カードとなっている様です。

## 学び合い



札を使って



チーム分け

課題別練習では、助走・ふみきり・空中動作の3つの場面を、札を使って評価していました。自分が練習したことが友達に認められることで自信がついたり、新たな課題を発見できたりして、児童の意欲へとつながっていました。

## 中学校とのつながり



プロジェクターの活用



学びのつながり

プロジェクターには、中学校の生徒がお手本として、走り高跳びを行っている動画がエンドレスで流れていました。中学生にとっても、小学校の授業でお手本とされていることに、とても満足感があるのではないかと考えられます。

## ◎まとめ

自分の課題は何か、次の練習は何かなど、児童が自己決定する場面が多い授業でした。「自己決定させること」、「記録会では、高低で競い合わせるのではなく、記録の伸び率で競い合わせること」などで、体育が苦手な児童でも、意欲的に取り組むことができていました。とても勉強になりました。

(文責：富岡市立黒岩小学校 永井皓平)